

指導者委員会連絡
2019年9月9日

都道府県ソフトボール協会
指導者委員長 様

公益財団法人 日本ソフトボール協会
指導者委員長 久保田豊司

日本スポーツ協会指導者資格制度改定に伴う当委員会対応方針（案）について

当委員会（令和元年7月15日開催）における方針（案）については、下記のとおりとなっていますので情報共有します。

【方針（案）】

- 公認指導者資格は2021年度より日本スポーツ協会公認指導者資格に一本化する。
- 2020年度をもって指導者対象講習会・準指導員養成講習会は廃止とする。
ただし、2020年度までに受講したものの有効期限は現状同様の扱いとする。
- 2021年度よりスタートコーチ資格（講習時間7時間30分）を導入する。
受講料・登録料は別途協議とする。
- 当協会主催の公式試合の参加資格については下記のとおりとする。
 - ・コーチ1以上の有資格者でなければならない。
ただし、次の種別に限りスタートコーチ資格でも認めることにする。
ハイシニア、シニア、エルデスト、大学（指導者が学生の場合に限る）、小学生
 - ・中学生及び高校生チームは、教員免許保有者が指導者（監督・コーチ）である場合は、日本スポーツ協会資格は免除する。（本務教員に限る。）

【最終決定までの流れ】

- 当委員会ブロック別意見聴取（2019年11月上旬頃までを目途にする）
- 当委員会開催し最終案を決定（2019年11月下旬）
- 理事会に最終案を提案（2019年11月下旬）
- 都道府県委員長に説明会を実施（2020年2月～4月で予定）
- 公益財団法人日本スポーツ協会に方針を提出

担当

指導者委員会 事務担当 青木敬祐・小川美穂